



## 「介護110番」に27人の相談

- ” 要介護1から要支援2になり、ヘルパー時間が短くなった”
- ” 4月改定でサービス使えなくなった。施設も空きがない”
- ” 声を出す入所者の口に、ガムテープが貼られた”
- ” 母親の介護9年間。疲れた”

28日、「介護に笑顔を！」道連絡会が、「介護110番」を実施しました。朝10時の開始と同時に3本の回線がいっせいに埋まり、次々と相談の電話が寄せられ、1日で27人から相談がありました。

4月改定によって「ヘルパーの時間が1回2時間から1時間半に短縮されて、これでは時間が足りない」「サービスを減らさなくてはならなくなったが、家族も自分たちの仕事で精一杯で大変。施設も空きがないといわれ、困っている」など、具体的に被害を受けているご家族からの相談が多く寄せられました。

また、「元看護師で、3年前に退職して母親の介護をしているが、ストレスがひどい。話を聞いてほしい」と家族の負担が依然大きいことが伺える電話もありました。

また、「声を出す入所者の口にガムテープを貼っている」「虐待を指摘したら、職場でいじめに遭っている」など、職員から告発の電話もありました。すぐに道庁に通報して対応を取るよう求めました。

「母親が認知症なのではないかと思う。どうしたらいいか」「認定審査の結果『要支援1』といわれたが、『要支援』とは、なんのことか」「申請をしたら、居宅介護支援事業所を探すように役所からいわれたが、どうやって探すのか」などなど、よくある疑問・悩みに応える体制が不十分であると考えられる相談も減っていません。



### 明日 介護の実態を明らかにする 市民集会

5月30日(土)  
14:00~16:30  
札幌・建設会館ホール(北4西3)  
コメンテーター 日下部雅喜さん  
福祉介護オンブズおおさか事務局長



午前10時から午後7時まで、勤医協在宅・いつくしみの会・北海道勤医協・福祉保育労・北海道民医連からケアマネジャーら10人が相談にあたりました。

連絡会ではこの結果を、明日30日の市民集会で報告することになっています。

← **全日本民医連が、  
総選挙に向けて  
新しいチラシを発行しました。**